

カヤツリグサ科

ネビキグサ（アンペライ）

Machaerina rubiginosa (Sol. Ex G. Forst.) T.Koyama

兵庫県ランク… B

環境省ランク… ー

■ 県内分布

明石市、姫路市

■ 国内分布

本州（関東以西）、四国、九州、琉球諸島

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

■ 保護上の留意点

■ 種の概要

湿地に生え、鱗片に被われた長い匍枝をつける。茎は高さ60-100cm、円くて平滑、葉は大部分根生し、平滑で円柱形、径2-3mm、粉白緑色で光沢がない。分花序は3-5個つき、おのおの5-8個の小穂からなる。